



社会

地域社会との共生および発展への貢献

コミュニティの発展

社会貢献活動



イントロダクション・目次	CEO メッセージ	ジャトコについて	サステナビリティマネジメント	環境	事業
社会	人的資本	事業基盤	データ	GRIスタンダード対照表	

コミュニティの発展



地域社会のみなさまとともに

ジャトコグループは、地域社会に愛される「よき企業市民」となることを目指しています。企業活動は地域社会とのかかわりの中で営まれるものであり、コミュニティの一員として主体的に社会とかわり、さまざまな形で地域社会に貢献することが重要な責務と考えます。

ジャトコグループの技術やアセットを活かして地域課題の解決に積極的に取り組むことは、「この地域にあってよかった」と思っただけの存在となり、企業にとっても有益です。こうした取り組みは、地域と企業が互いに成長・発展していくことにつながります。例えば、自動車用ユニットの技術を活かして電動自転車用ドライブユニットを新たに開発し、地域が抱える観光振興や健康増進などの課題解決とともにチャレンジしています。また、岳南電車「ジャトコ前」駅の花壇を整備し、地域のみなさまに生活の豊かさを提供しています。

複雑化する社会課題に対応しながら、ジャトコグループは常に地域社会との対話を通じた地域活性化や社会・環境課題の解決に貢献していきます。



花咲く*ジャトコ前駅プロジェクト

取組み事例

富士地区：地域高校の部活動合宿支援

吉原工業高校剣道部の夏季合宿において、ジャトコ富士見台寮を宿泊施設として提供しました。地域の高校生が安心して練習に専念できる環境を支援するとともに、寮施設の有効活用を通じて地域とのつながりを深めました。



富士地区：地域医療の充実を支援

ジャトコは、富士市立中央病院の「ラピッド・ドクターカー」導入に寄付を行いました。迅速な救急医療の提供を支える取り組みへの支援を通じて、地域住民が安心して暮らせる地域づくりを応援しています。



タイ：学生を対象とした水耕栽培学習活動支援

ジャトコタイランド社は、地域の学校と連携し、水耕栽培に関する学習支援活動を実施しました。生徒が栽培技術を実践的に学ぶ機会を提供し、次世代を担う人材育成につながる取り組みを行いました。



メキシコ：州環境保護局から持続可能な企業認証を取得

ジャトコメキシコ社は、州環境保護局より持続可能な企業認証を取得しました。日頃から進めている環境保全活動や法令順守への取り組みが評価されたものであり、環境に配慮した事業運営を継続しています。



富士市と進める地域づくり

ジャトコは、本社所在地である富士市とともに持続可能な地域社会の実現を目指し、経済・社会・環境の各分野における取り組みを推進しています。

主な取り組み

- ・「富士市スタートアップサポーターズ」
- ・「SDGs プロジェクト」
- ・「ふじグリーンパートナー」
- ・「生物多様性ふじサポーター」

これらの活動が評価され、2026年に富士市SDGs未来都市推進企業登録制度において「活動段階A認定」を取得するとともに、「SDGs活動先導企業」に認定されました。

今後も地域との対話や連携を大切にしながら、持続可能な地域づくりに取り組んでいきます。



認定式



認定証

社会貢献活動



基本方針

3つの重点分野「環境」「教育」「福祉」

ジャトコグループの社会貢献活動は、良き企業市民として地域社会へ貢献するために、「環境」「教育」「福祉」の3つの重点分野を設定しています。従業員の知恵と力で活動を推進しています。

社会貢献活動を通して、活動の現場や地域からダイレクトな反応をもらえることも従業員にとっての大きなメリットとなります。



ありたい姿

従業員一人ひとりが自律した社会貢献活動へ

ジャトコグループでは、執行役員・執行職が社会貢献リーダーとなり、全社の活動を推進しています。また、各部署の従業員自らが活動を提案し、企画・実施することも大きな特徴です。

そのため、今では社会貢献活動を実施するたびに従業員一人ひとりに社会課題の意識が芽生えてきています。

ジャトコグループでは今後も地域の課題解決につながるような社会貢献活動を実施していくことで、地域社会から信頼され、必要とされる企業を目指します。

社会貢献リーダー メッセージ

様々な社会貢献活動を通じて、参加した従業員の生き生きとした姿や地域の皆様の笑顔に触れ、社会貢献活動がジャトコの文化として着実に根付き、地域社会の課題解決に貢献していることを強く実感しています。今後も私たちの取り組みが、社会課題の解決に対する意識をさらに高めるきっかけとなることを願っています。



社会貢献リーダー
新規事業本部 執行職
秋山 佳信

グローバルで12,772人が参加

ジャトコグループの社会貢献活動はグローバルに行われており、世界中でそれぞれの地域ニーズに合った活動に取り組んでいます。

2025年度は、グローバル全体で12,772人の従業員が参加。「環境」「教育」「福祉」各分野でさまざまな活動を行いました。

活動事例（一例）

分野	参加人数	主な活動事例
日本	5,267	キッズエンジニア（小学生） 教育講座 学校&企業訪問（小・中・高校生） 富士山クリーンルート3776清掃 電動車椅子サッカーサポート 全国知的障がい者サッカー大会（ジャトコカップ）
メキシコ	3,557	障がい者施設・老人ホームへの食料品・生活用品寄付 ペットボトルキャップの寄付 困窮家庭へのリサイクル資源提供支援
中国	2,027	会社周辺の美化活動 下鉄駅環境保護活動植動 地下鉄駅周辺の環境美化活動
フランス	58	バッテリーの寄付 ペットボトルキャップの寄付 ランニング参加費の一部を慈善団体へ寄付
アメリカ	106	動物保護施設へのペットフードの寄付 食料品・ベビー用品の寄付 地域の子どもや大人を対象としたパソコン講習
タイ	1,319	学生への水耕栽培野菜の栽培指導 ペットボトル回収・スクールバッグリサイクル活動 子どもたちへのヘルメット寄贈、交通安全啓発活動
韓国	438	公園美化ボランティア活動 ホームレス支援炊き出し・衣類寄付ボランティア活動 ペットボトルキャップリサイクル活動

イントロダクション・目次	CEO メッセージ	ジャトコについて	サステナビリティマネジメント	環境	事業
社会	人的資本	事業基盤	データ	GRIスタンダード対照表	

社会貢献活動

各地区清掃活動

環境 教育 福祉

富士地区をはじめ、各地域で多くの清掃活動を実施し、地域社会へ貢献します。各拠点年間52回清掃活動を実施し、計1,214名の従業員・従業員のご家族が参加されました。



参加従業員の声

地域のためと思って参加しましたが、近隣の皆さまから感謝の言葉をいただき、やりがいを感じました。活動を通じて地域とのつながりを実感するとともに、自分自身も前向きな気持ちや充実感を得ることができました。

キッズエンジニア2025

環境 教育 福祉

小学生を対象に、電気自動車の模型を使って、歯車の仕組みを学び、モノづくりの楽しさを体験するプログラム。完成した模型は、専用コースで走らせ、タイムを何度も計測しながら、最適な歯車の組み合わせを見つけていきます。ものづくりに興味を持った子ども達が、将来、日本を支える技術者になってくれることを期待しています。



イベント参加者の声

・タイムがランキング表示されたので、何度も挑戦したくなり楽しかった。また参加したい。
・いつもは見られない、一生懸命に取り組む息子の姿に感心しました。

電動車椅子サッカー全国大会

環境 教育 福祉

ジャトコが継続してサポートする電動車椅子サッカーの全国大会では、フットガードの脱着を行う「ジャトコピット」や試合運営のサポートなど、大会に欠かせない存在として活躍。障がいのある選手たちが電動車椅子を巧みに操作し、迫力あるプレーに会場は感動に包まれます。



選手からの声

ジャトコの皆さんには、大会運営を通じて私たち選手が安心してプレーできる環境を支えていただき、とても感謝しています。温かい応援やサポートが、選手一人ひとりの挑戦する力にもつながっています。

安養川清掃活動（韓国）

環境 教育 福祉

ジャトコ韓国では、2020年6月からジャトコ韓国とソウル市衿川区が協約を結んで実施している安養川の環境浄化活動です。美しい秋の風景の中で清掃活動をし、地域社会へ貢献します。



参加従業員の声

地域環境の保護に直接参加することで、企業の社会的責任を果たす機会となりました。

静岡県高校生インターンシップ受入（タイ）

環境 教育 福祉

ジャトコタイでは、静岡県教育委員会主催の「高校生海外インターンシップ」に賛同し、2025年も県内高校生7名を受け入れました。7月に富士地区での事前研修を行い、8月にタイへ渡航し、現地での交流や文化に触れる機会を設けました。ジャトコは今後もグローバル人材育成や企業の魅力を知る機会を支援していきます。



インターンシップ参加の高校生からの声

ジャトコタイ工場の見学を通じて、ものづくりの魅力を実感しました。海外の働き方や文化の違いを学び、異文化交流を通じて、協力し合うことの大切さも学ぶことができました。

食料品の寄付（メキシコ）

環境 教育 福祉

ジャトコメキシコでは、さまざまな障がいを持つ子どもたちを支援する施設へ食料品の寄付を行っています。この取り組みはジャトコ従業員の献身と協力によって実現した活動です。今後も必要としている方々に笑顔を届けてまいります。



参加従業員の声

自分にできる範囲で助け合いの手を差し伸べ、少しでも社会に貢献できたことは、大切な経験となり、子どもたちと楽しいひとときを過ごしました。